

情報発信について

NPO活動推進課とボランティア交流センターながのでは、ホームページや情報誌等により、NPOの皆様役に役立つ情報を発信しています。是非ご利用してください。

☆ホームページ（あいねっと情報ながの <http://www.pref.nagano.jp/kikaku/npo/menu.htm>）

* 県内NPOデータベース

県内NPO法人の情報が検索できます。なお同意の得られている法人については、定款及び3年分の事業報告書を掲載しています。

* 「NPO法人活動紹介」コーナー

NPOの活動を具体的にイメージしていただくため、また、法人設立を考えている方の参考にしていただくために、当課の職員が訪問したNPO法人をカテゴリ別に紹介しています。

* NPO「こんなことができます!!」紹介コーナー

NPOの活動を知っていただき、地域の団体、企業、行政との連携、協働に役立てていただくために開設しました。応募は随時受け付けています。方法はホームページをご覧ください。

* ダウンロードコーナー

「NPO法人の設立・管理・運営の手引き」がダウンロードできます。NPO法人の設立時に必要な様式等があります。

☆ ボランティア交流センターのボラセンブログ

交流センターでは、NPOやボランティア団体、地域の人たちにお役に立つ情報をブログで配信しています。特に、助成金情報は、最新の情報を掲載していますので参考にしてください。また、イベント情報なども随時配信しています。リンク先は、<http://blog.goo.ne.jp/prefnpo> です。なお、毎週末に、メールマガジンも配信していますので、購読ご希望の方は、当センターのホームページへアクセスして、ご連絡をお願いします。

☆ 情報誌（ボランティア・NPO情報ながの）

ボランティア交流センターながのやNPO団体の活動紹介等の情報を掲載し、年2回発行します。

☆ 助成金やイベントのお知らせ等の情報提供

情報誌や、事業案内の通知と一緒にNPO法人にお送りします。

4月1日から県の組織が変更になります

旧 企画局NPO活動推進課 ⇒ 新 企画部生活文化課NPO活動推進室

出前講座を行います

長野県は、県職員が皆様の地域にお伺いし、施策の説明や意見交換をする「長野県出前講座」を行っています。当課では、「NPO活動」というテーマで承ります。NPO法人の設立や活動について話を聞きたいという希望がありましたら、県民の皆様が参加する概ね20名程度のグループでお申込みください。職員の派遣費用はかかりません。

県HPの「長野県出前講座注文書」をお出し下さい。

<http://www.pref.nagano.jp/soumu/koho/demae/kagami.htm>



編集後記

◇ ボランティア交流センターながのは、長野オリンピック開催を期に平成10年5月に設立され、今年で10年を迎えようとしています。設立当初から、センターのスタッフとして、最前線でボランティアの育成、ネットワークづくりに尽力されてきた丸田藤子さんがこの3月で辞められます。ご苦労様でした。そして、ありがとうございました。

◇ 県内のNPO法人の皆様におかれましては、今後も、私たちが取材等でお伺いすることがあると思いますが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ボランティア・NPO 情報ながの

平成20年3月 Vol.25

ボランティアとNPOを応援する情報誌



NPOの集い ～会計セミナー～（松本合庁11/21）



県政出前講座（長野大学10/22 丸田藤子ボランティア・NPO連携推進員）

NPO活動推進課とボランティア交流センターながのの活動から



NPOの広場（東御市中央公民館「東御市消費生活展」11/10）



NPO活動助成事業（子ども農山村交流シンポジウム）8/16
主催 特定非営利活動法人小谷山村留学会

- トピックス・・・・・・・・・・・・・・2 P
- 平成20年度NPO活動推進室・・・・・・3 P
NPO支援事業案内
- めざそう！ボランティア・NPOのネットワーク・・・・・・・・・・・・・・4,5 P
- 交流センターアラカルト・・・・・・・・・・6 P
- データで見る長野県のNPO法人の姿・・・・・・・・・・7 P
- インフォメーション・・・・・・・・・・・・・・8 P

総務大臣表彰受賞

特定非営利活動法人夢空間松代のまちと心を育てる会

平成19年11月に、地方自治法施行60周年を記念して行われた式典で総務大臣表彰を受けました。地域の歴史的建造物の保存や文化の継承による地域活性化の取組みを実施し、文化財保護や観光振興に貢献している活動が評価されました。



法人は、「信州松代まるごと博物館構想」を実現するため、町屋等、歴史的な建造物の、国の登録文化財認定に向けた取組みや、街の路地裏を巡る「里山ウォーキング」、武家屋敷の庭園を巡る「お庭拝見」等、市民参加による松代町のまちづくり事業を活発に展開しています。

平成19年11月に、法人と神奈川大学工学研究所と共同で「神奈川大学・松代町 町づくり研究所」を設立し、大学と連携した地域活性化の取組みを始めています。



お庭拝見

(連絡先)
〒381-1231 長野市松代町伊勢町548-1
TEL/FAX 026-278-1277
Eメール yumekuukan-matsumi@topaz.ocn.ne.jp
URL <http://www.geocities.jp/yumekuukanmatsumi/>

第2回企業&NPO協働アイデアコンテスト最優秀賞受賞

特定非営利活動法人長野サマライズ・センター

平成20年1月に(財)中部産業活性化センター等が主催の第2回企業&NPO協働アイデアコンテストにおいて最優秀賞を受賞しました。アイデアは「コールセンターを活用した、情報仲介事業」で、30社以上の企業等からの参加者を前にプレゼンを行い、見事受賞しました。

「聞こえに不自由を感じている方々は、声が聞こえないために情報を阻害され、リアルタイムなやり取りができない」という課題があります。

そこで「リアルタイムに連絡が取れない環境にある聴覚障害者などの代わりに、オペレータが情報を仲介するシステム」を、企業のコールセンター機能に付加するという、いわば、企業の社会貢献システム作りの提案を行ったものです。



法人は、携帯電話会社ソフトバンクモバイル(株)の「社会的投資プログラム」も受賞しており、「携帯電話を活用した、聴覚障害者学生のための実習サポート活動提案事業」が実現に向けて始動する等、企業との協働に特に力を入れて活動しています。



(連絡先)
〒399-0701 塩尻市大字広吉田505番地8
TEL/FAX 0263-85-1619
Eメール fstep@kmail.plala.or.jp
URL <http://www.shibuirime.jp/~fstep>

県立こども病院時計台にカリヨンを寄贈

特定非営利活動法人いのちと平和の森

平成19年11月に、県立こども病院の象徴である37メートルの時計台に、法人から県に寄贈されたオランダ製のカリヨン16鐘が取り付けられ、除幕贈呈式が行われました。

こども病院は平成5年に開設され、時計台がありますが、鐘はとりつけられていませんでした。鐘の設置は、病院を利用するこどもの願いでもあったとのこと。朝夕は三善晃作曲の「母のための音楽」、昼は時節に応じ、早春賦ほか17曲が奏でられています。

当初、法人は、アルプスが一望できる松本市島内の市有地を借りて整備している「いのちと平和の森」に、モニュメントとして鐘を設置する予定でしたが、こどもや家族への癒しと、地域のシンボルになることを願って、現地から眼下に見えるこども病院時計台に設置することになったとのこと。会長の横内祐一郎さんは「鐘の音がこどもたちを勇気づけてくれるのではないかと」と思いを語っています。



また法人は、森林整備の間伐材を利用した「木っばくん」「大樹くん」を作り、小学校等で環境教育活動を行うとともに、いのちの大切さをこどもに伝えていきます。



(連絡先)
〒390-0812 松本市北深志1-9-22
TEL/FAX 0263-87-0027
Eメール matsumoto@forest-of-life-and-peace.com
URL <http://www.forest-of-life-and-peace.com/>

NPO活動助成事業

県では、県内のNPOの活動を支援するため、公益の増進に寄与する先駆的・独創的な事業、NPOと県との協働を推進する事業に対して助成します。詳細は同封のチラシをご覧ください。

<募集期間> 4月10日～5月9日(必着)

<対象団体>

- ・交付の申請を行う日の属する年の4月1日において、設立の日の翌日から起算して3年以内の団体
- ・過去において2回以上当該助成事業の助成を受けていない団体

<対象事業>

- 県内のNPOのモデルとなる事業で、
- ・実施場所が複数の地方事務所の管轄する広範な区域にまたがる事業
- ・事業の直接の効果が及ぶ範囲が複数の地方事務所の管轄する広範な区域に及ぶ事業

<事業区分・助成額> (補助率はいずれも助成対象経費の2分の1以内)

- ①先駆的・独創的な事業 20万円～50万円
- ②県との協働事業 20万円～75万円

NPOの広場

県内各地で開催されるイベントで、NPOに関する情報提供や相談、NPO活動の紹介等に関するブース設置を行うことにより、地域の皆様にNPO活動への理解をさらに深めていただけるよう取り組んでいます。

平成20年度は、各地域で、社会福祉協議会、市民活動支援センター等により開催されるイベントへの参加を予定しています。実施状況は、県HP「あいねっと情報ながの」においても、随時お知らせしてまいります。

(<http://www.pref.nagano.jp/kikaku/npo/menu.htm>)

NPOの集い～会計セミナー～

NPOと行政が地域社会の課題解決のための意見交換、情報交換を行うとともに、公認会計士等の会計の専門家によりNPO法人向けの会計について説明等を行う、会計セミナーの開催を予定しています。(平成19年度は、長野市・松本市で開催し、約140の方が参加されました。)

*詳細については、別途お知らせします。

<内容>

- 公認会計士・国税局による講習
- 公認会計士による個別会計相談等



NPO活動サポート事業

県の機関で使わなくなった物品(会議机やイス等)を、NPOの皆様へ提供し、NPOの活動基盤の整備を支援するものです。平成19年度は、長机やロッカーなどからポットや湯呑茶碗まで、長年使用した備品や物品の提供を行い、100点を超える物品が15団体に引き取られました。リサイクルという点から環境にやさしく、NPO活動に有効に利用していただけるということから、今後実施してまいります。(実施時期は未定。使用可能な遊休物品が出ましたら、県HP「あいねっと情報ながの」に掲載します。)

NPO活動振興資金利子補給事業

平成15年度より、県内の特定非営利活動法人の事業の安定及び強化を図るため、金融機関が特定非営利活動法人にNPO活動振興資金の融資を行った場合に、利子補給金を交付していましたが、**新規の募集は平成19年度をもって終了しました。**

今後は、金融機関に対してNPO活動への理解を深めていただき、NPO法人に対する融資を促進するとともに、団体間のネットワーク形成等様々な施策を併せて実施し、NPOの活動を支援してまいります。

創業促進税制 NPO法人活動支援税制(県税)

<創業促進税制>

NPO法人の設立を促進するため、法人事業税を免除します。

- ・法人事業税 設立から5年間 収益事業を行う黒字決算法人 平成15～20年度までに設立した法人

<NPO法人活動支援税制>

NPO法人の活動を支援するため、県税の課税免除等を行います。

- ・法人県民税 設立から5年間 (均等割) 収益事業を行う赤字決算法人
- ・不動産取得税 設立後5年以内 本来事業用の取得
- ・自動車取得税 設立後5年以内 本来事業用の無償取得

*課税免除等の相談及び申請については、地方事務所税務課にお問い合わせください。

～もっとこうなれば!! 地域が力強い助っ人～
特定非営利活動法人上松町こども未来会議

働く親にとって、放課後の子どもの居場所づくりは切実な課題となっていました。そこで、町から放課後児童健全育成事業の委託を受け、「おひさまクラブ」を開設しました。スタッフは全員、30代～40代の働く女性です。

また、法人化する前の平成16年11月からは、給食宅配サービス事業所「結」を行っています。本曾地域は高齢化が進み、高齢者を支援する方も高齢化しており、独居の高齢者の方は、買い物や食事作りがとても負担になってきたためです。昼と夜の2食を、独居高齢者を中心に配達しています。手づくりの物を宅配できるよう心がけ、減塩・カロリー制限等のニーズにも対応しています。「結」は障害のある方の働く場所にもなっています。

法人は働く親、高齢者、障害者、こどもの力強い助っ人として、地域になってはならないサービスを展開し続けています。



(連絡先)
〒399-5607
本曾郡上松町大字小川1814
TEL/FAX: 0264-52-5775

めざそう! ボランティア・NPOのネットワーク

NPO活動推進課とボランティア交流センターながのでは、活動分野を超えたネットワークづくりのお手伝いをめざしています。各法人の詳しい活動状況は、NPO活動推進課ホームページ「NPO活動紹介」コーナーをご覧ください。



～旧橋川村 個性あふれる地域づくりを目指す～
特定非営利活動法人ビレッジならかわ

橋川村が塩尻市に編入合併することを期に、平成16年10月に設立され、「行政への陳情型だけではだめだ。自分達でできることは自分達でやってみよう」が合言葉です。村の長い歴史や文化に育まれてきた地域の特性を大切に、一人一人の顔が見える個性豊かな地域づくりを目指しています。

法人には5つの事業部があります。中学生が休日に独居老人宅の除雪を行う等、地域の人材を育成活用する人材活用委員会、IT技術向上の講習会開催や、ポータルサイトの管理運営を行うIT事業部、不法投棄パトロール等を実施する環境事業部、移動困難者に移送サービス等を行う健康福祉事業部があります。フィルムコミッション事業部は、映画・テレビ等の撮影誘致を年間20件位行っており、ロケハンへの情報提供、同行、エキストラの手配等を行っています。なお法人は、信州フィルムコミッションネットワークに加入している県内5団体のうち、唯一の民間団体で、活発に活動しています。



撮影中待機しているエキストラの皆さん

(連絡先)
〒399-6302
塩尻市本曾平沢2174
TEL: 0264-34-1122
FAX: 0264-34-3432
URL: http://www.filmcommission.jp

～地域で普通に暮らす 当事者による啓発活動～
NPO法人ボプラの会

平成16年4月に長野市精神障害者「当事者ボプラの会」として発足以来、当事者としての経験を活かした活動も徐々に充実してきました。「より広く、より多くの方々に活動に参加して頂きたい」という思いから平成19年10月に法人化しました。

「一人で悩むのが一番つらい。当事者でなくてはわからない苦しみがある」と代表の山本悦夫さんは言います。ピアだからこそできるを大切に、電話・面接によるピア・カウンセリングや、月一回のピア・カウンセリング講座を行っています。

また、研修会や学校などに出向き、体験談を話したり、絵画教室、ミニ・コンサート等を開催しています。昨年の夏にはサイトウ・キネン・フェスティバルの特別出前コンサートが実現しました。

今後は、地域の方との交流を大切にして、人と人とのネットワークづくりを考えていくとことです。



スタッフの皆さん

(連絡先)
〒380-0928
長野市若里7-1-7
県社会福祉総合センター
TEL/FAX: 025-228-3344
Eメール: najano.peer.support@kind.pcne.jp

～町の良さを再発見 子ども達のキラキラ輝く瞳を取り戻す～
特定非営利活動法人じろ倶楽部

じろとは「灯(いりり)」の意味で、「いりりのように町民を暖める灯を町にともしたい」という思いが込められています。

「町の人があたり前になりすぎて、気づいてない周りの風景・歴史・町の豊かさを子どもに伝えたい」と、町の将来に思いのある仲間が設立し、毎週末、約20人の子供が岩登り等をして遊び、楽しんで帰っていきます。

子どもに「夢」を、お年寄りに「生きがい」を、人々には「ともに生きる喜び」を感じることができる社会作りを目指し、地域ぐるみで子育てができないかと考えています。

また、ボランティアスタッフとして、町の様々なイベントにも協力しています。「行政の枠組できないことを、自分達がやっていくことが大切。田舎は田舎で生き残っていく必要がある」と理事長の木村知広さんは決意を語られました。



(連絡先)
〒584-1102
南佐久郡小海町小海4242番地
TEL/FAX: 0267-92-0488
Eメール: jiro-club@sunny.email.ne.jp

～山村留学を推進～
特定非営利活動法人小谷山村留学育成会

平成20年3月に、未来を担う子ども達のための人づくりと活力ある地域づくりを目指して、「子ども農山村交流シンポジウム」が小谷村で開催されました。基調講演の後、県内外の実践者等9人によるパネルディスカッションが行われました。

法人は平成18年9月に設立され、山村留学は都市部の子供達もが親元を離れ、山村などの自然環境の豊かな地域で暮らしながらその地の学校に通学し、自然体験や農業や家事を手伝ったりするもので、様々な体験活動を通じて、子どもは家族との絆の意味を改めて考え、自立心も身につけていくとことです。

今後、山村留学の役割・効果を多くの方に広く知ってもらい、全国的な組織づくり等も行っていきたいとことです。



(連絡先)
〒399-9511
北安曇郡小谷村大字中土6643番地1
TEL/FAX: 0251-85-1550

～障害者の余暇支援、スポーツ活動の充実を～
特定非営利活動法人ハンディキャップしあわせサポートクラブ(H.S.S.C)

平成6年からハンディキャップ・スポーツ・サポート・クラブとして、障害児にスポーツ活動・余暇活動を継続的に提供してきました。平成12年8月に、今後は就労の場、生活の場等についても考えていくことが必要とし、「スポーツ」を「しあわせ」に変え、法人化しました。5ヶ所のグループホーム、共同作業所、ヘルパーステーション、地域の方と共に作業する「ふれあい農園」等を運営し、レクリエーションや軽スポーツ、料理教室、ヘルパー2級講座等を開催してきました。

平成18年8月にNPO法人が母体となり、社会福祉法人しあわせを設立し、意願の通所授産施設を立ち上げ、共同作業所等の日中活動支援部門は社会福祉法人に引き継ぎました。

今後、地域の方々と関わりを大切にし、「それぞれが興味を持てるよう、しっかり支援していきたい」と湯原明雄理事長は話していました。



料理教室

(連絡先)
〒389-0822
千曲市大字上山田2064番地1
TEL/FAX: 026-261-4252
Eメール: hssc-cross-road@hotmail.co.jp

♪おひさま発電で環境教育♪

特定非営利活動法人信州おひさま進歩

太陽光発電など自然エネルギーの普及啓発活動や、省エネルギーの普及活動に取り組んでいる法人です。

NPO法人が中心となって、会社を立上げ、「おひさまファンド」を創設し、市民出資による温暖化防止プロジェクトが進行中です。この取組みは、行政に頼らず、市民の手で地域を良くしようというもので、全国の自治体等からも注目されています。

飯田市から保育園等の公共施設の屋根を無償で借り、太陽光発電システム「おひさま発電所」を設置し、現在123箇所に増えています。法人では、この「おひさま発電所」のある保育園等に、マスコット「さんぼちゃん」を連れて出向き、エネルギーの大切さを教える等の環境教育を行っています。今後は小中学校での環境教育にも力を入れていきたいとことです。



(連絡先)
〒395-0044
飯田市本町2-15
TEL/FAX: 0265-24-4821
Eメール: sunpo@leaf.tcn.ne.jp
URL: http://www.ohisama-shinano.or.jp

～それぞれの想いをどんぐりの木に託す～

特定非営利活動法人北相木村の森

「この村には素敵な文化がある。山とともに暮らしてききたきき方がある。村に住む人訪れる人がもう一度森につどい、森を育て森の恵みを受ける喜びを続けたい」と理事長で、北相木村診療所長の松橋和彦さんは熱く語ります。

今年の春から「託林(たくりん)」を始めます。重い病気のある方や、心の傷を癒したい方などが、それぞれの気持ちをこめて、森にミズナラの植樹をします。不治の病にかかった方にとって、それぞれの思いを、どんぐりの木に託すことは、最期の時間を有意義に過ごせ、人生の最期にできる社会貢献の活動であるといえます。

法人では、長年使われていなかった10a程の棚田を、重機を使わず、1年間かけて復田し、全て手作業で米作りを行いました。

今後、森林セラピー等に訪れる方のための歩道を整備し、北相木村を森林の価値を体験できる場所にしたいと意欲的です。



(連絡先)
〒584-1201
南佐久郡北相木村3395-1
TEL/FAX: 0267-77-2234
Eメール: k2234@ytg.janis.or.jp

～ITの活用で地方と都会の格差を埋める～

特定非営利活動法人木曾情報技術支援センター

「木曾には限らない魅力がある。その魅力を発掘し、広めていくには、まとまって情報発信することが必要」と理事長の永島芳晃さんは考えています。

渋滞や事故等の国道の道路状況情報や、運転手等からのタイムリーな目撃情報による書き込みにより、携帯電話上で得られる「ROAD110」を運営しています。掲示板が無料で携帯電話から得られる便利さから、1日1万件のアクセスがあります。「国道19号掲示板」を始めとして5路線があり、各掲示板の管理は道路近くのNPO法人や市民団体の協力により行われています。

法人では、「木曾ドットインフォ」は木曾の総合紹介サイトで、祭りや風俗など直接収益につながらないが、大切にしたい木曾の魅力を全国に発信し、行政とはひと味違った地域参加型の情報提供を目指しています。



(連絡先)
〒397-0001
木曾郡木曾町福島5393-11
TEL/FAX: 0294-22-2210
Eメール: info@kisoitscnet
URL: http://www.kisoitscnet/

～障害者の就労をITにより支援～

特定非営利活動法人SOHO未来塾

障害者の就労をITにより支援するNPO法人です。障害者パソコン技術習得講習や、松本市の地区福祉ひろばのHP管理運営、IT相談員による相談等を行っています。

IT技術の進歩は、生活活動に制限を受ける障害のある方々にとって、自宅での情報の入手・発信、就労、社会参加などが可能となりました。理事長の唐澤正明さんは、平成7年から障害者パソコン研究会を設立し、障害のある方の就労を支援してきました。

平成17年10月から大手IT企業のWEBパトロールを実施し、誤字・脱字などを点検する「サイトチェック」を行い、社員として6人、アルバイトとして10人が採用され、在宅就労が増えています。

また、他の企業からも雇用の話があり、さらなる人材育成が課題となっているとことです。



第2回 高齢者・障害者のICTを活用した社会参加を考えるシンポジウム

(連絡先)
〒390-0315
松本市岡田町308-2
TEL: 0263-45-5115
FAX: 0263-46-6751
Eメール: kame3da@mx2.avis.ne.jp
URL: http://www.shinshusky.com/

交流センターアラカルト

人と情報の交差点！交流センター

「ボランティア交流センターながの」は、ボランティア・NPOの皆様をはじめとする、県民の皆様との交流拠点です。その役割は、県民の皆様とのNPO活動の相談窓口であり、NPO活動をするための拠点です。

「情報コーナー」では、新聞・情報誌等によって、各地のNPO活動の取り組み、助成金、イベント情報をご覧いただけます。「作業スペース」は印刷機や紙折機等（一部有料）、NPO活動を行う上で欠かせない機材をご用意し、皆様方の活動がスムーズに行えるようにサポートしています。

また、交流センターでは、NPOや地域の方々にお役に立つ情報をブログで配信しています。交流センターは多くのボランティアの方々の手によって支えられています。



いつも笑顔配達
新聞切り抜きボランティアさん



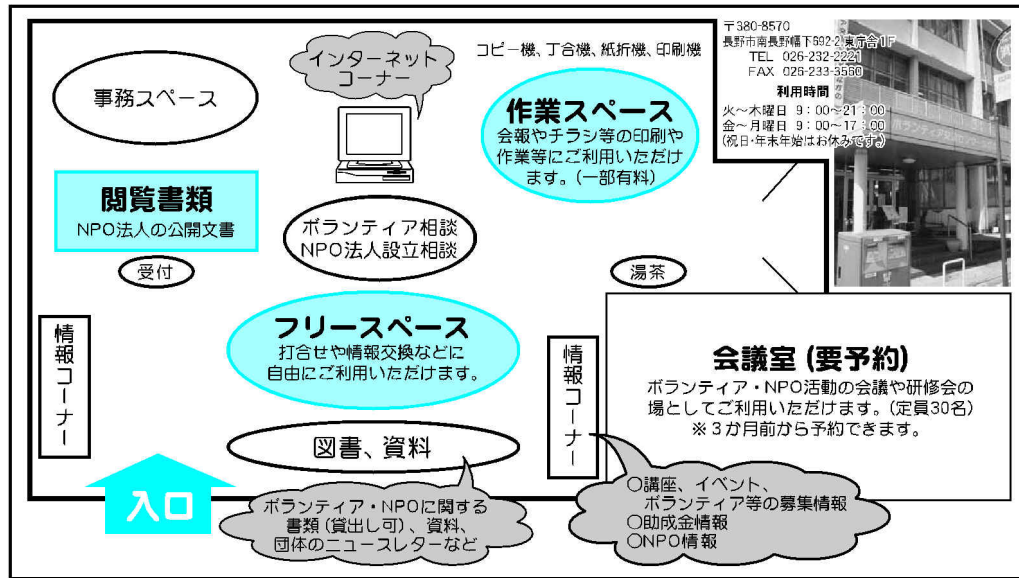
スタッフ



春の彩配達人 生け花ボランティアさん

平成20年度は、NPOやボランティア活動の支援のみならず、「人と情報の交差点」として幅広く地域の皆様とも関っていくとともに、市民活動センター等との連携を深めていきたいと考えています。今後も、ボランティア交流センターながのをご利用ください。

ボランティア交流センターながの



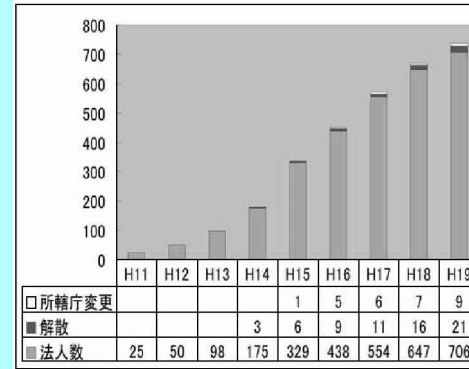
ボランティアが支える「長野灯明まつり」

長野オリンピックの開催を記念して始まった祭りです。善光寺参道に平和への想いが込められた光のアート作品が並ぶ「ゆめ灯り絵展」は、多くのボランティアの方々によって支えられています。21世紀ボランティア研究センターと長野青年会議所の方々が、当センターで作品の組み立て作業を行いました。心を癒す灯り絵の裏に、多くの人たちの活動があります。



データで見る長野県のNPO法人の姿

長野県認証法人数の推移 (H20.2.29現在)



☆法人数 706団体 (全国33,963団体)
全国2位 (人口10万人当りの数)
(1位は東京都)

☆役員数 約6,100人
女性役員割合 約26%
1法人当り平均役員数 約8.6人

☆法人がない町村 11町村

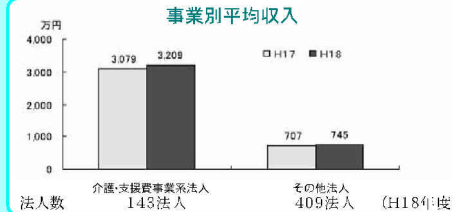
☆法人が多い市町村(対人口比)

区分	市	町	村
1位	駒ヶ根市	飯綱町	北相木村
2位	伊那市	上松町	売木村
3位	飯田市	小布施町	中川村

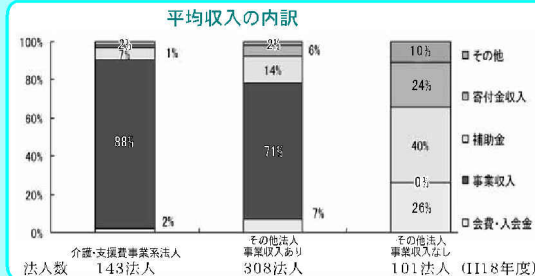
NPO法人の決算状況 (平成18年度)

(H19.12末まとめ 552法人対象)

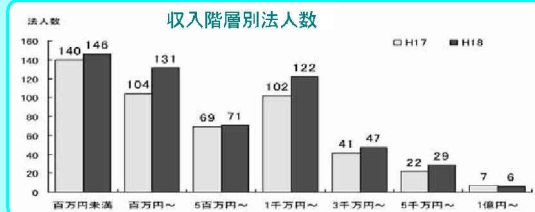
☆収入総額 約76億3千万円
☆平均収入 1,384万円 平均支出 1,297万円
☆平均資産 964万円 平均負債比率 57%



介護保険及び障害者支援費の指定事業者(以下「介護・支援費事業系法人」という。)の平均収入が3,209万円、介護・支援費事業系法人以外の法人(以下「その他法人」という。)の平均収入が745万円となっており、介護・支援費事業系法人がその他法人の4.3倍の収入となっています。



平均収入の内訳をみると介護・支援費事業系法人の事業収入の割合が高いのに対して、その他法人では寄付金及び会費の割合が高く、特に「事業収入なし」では寄付金及び会費が全収入の50%を占めています。



平成18年度決算で収入が1千万円以上の法人は204法人で全体の37%を占め、平成17年度の35%から増加しています。